

バストス週報

第百六十三号
昭和卅二年
三月
廿四日発行

DIRETOR
KOITI MORI

REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112

BASTOS
C. P.

ANUAL
100\$-

出荷組合とは何ぞや

ホシカンを含むバストス名産にするための唯一の道を説く

畑 中 仙次郎

私共が微力ながらほんかん出荷組合を結成したのも、組合の仕事にありつきたいとか、これを利用して私腹を肥さんとかの私情に駆られて日夜苦勞して居るので、委託販賣と決定したのも、決して私の私利私欲でなく、大方の公平無私の見地から決定せられたもので、強ちコチヤ組合に限らず、吾等の大事な生産物を一ヶ所に集中してでもよいのである。その事は前回に述べた通りである。況んや今出荷組合を結成して既成産業組合の仕事に邪魔になり、たてつくような意図は毛頭ないものである。

重ねて申す、ほんかんを有利に販売するには、どうしても一本にまとめる必要がある。本年概算五千箱未満は、その四五倍の予想で年を追うて激増する。このため、斯く本年の生産は誠に今以上に新産足せんとする大事なるものである。先づ其の門出に際して、出荷組合本末の軌道に乗せ、総力を挙げて運営する事が出来れば、年を追うて偉大なる発展を遂げ、蓄財に資する事が出来るのである。一日も早く之を実現し、既成組合に拘らざる。高層一層、協同組合に盛り上げ、完全な独立した一つの協同組合に盛り上げ、栽培出荷組合に全托して、その発展を見守る。頂上を思い、目先の事のみを捉わらず、皆が思い、思いの行動を採って力が分散するなれば、結局は全部の者が共倒れになる。この火を見るより明かである。業組合の対立の爲めに植民地の発展が大変阻害せられて居るといふ。イタケイラに於ては多くの産物組合が他より進出し、来て御互に、鋳をけ、先づ生産物獲得に、各組合所屬に依って殆んど割據の状態を以て、各組合を異にする事に依る。

ALFAIATARIA IMPERIAL BASTOS

スマートなマルマ製

V型時代

丸山洋服店謹製

道は近きにあり……？！

三人のわが娘に同時にミシンを買いまして困難ではありませぬ

太郎田やのフレスタソンを御利用下さい
三回、十回、十五回、廿二回、賦払い

Casa Taroda



みしん買うなら、シンガーミシン
しかも、やさしい、賦拂いで……

バストス代理店

太郎田商店

て、お互いの交友連絡を欠くという。冠婚葬祭の如きも殆んど同一組合員に限る。例へば不幸があつた場合、他組合員の門を素通りして所屬を同じくする組合員のみに集まるという極端な場合が多い。斯く有様であるから日本人会が生まれず、学校関係位がまとまると居るといふ。桃の王座のイタケイラも何時迄か、判らぬ。山の山岸氏の如き熱血漢が挑発や道徳電氣の導入に外交宣教を以て得て面目を一新した。観があるが内容は依然として組合員間の対立が植民地発展の大きな障となつて居る。モジの如きもあれだけの勢大なる果実、蔬菜や卵を産出し、作ら各組合が強引に道出するの地元組合は永い伝統を持ち作り押され気味であるという。

者の如きは組合を利用して、単独行動を
 しては、何とやら行ける。誠、優位の立
 場にあるが、遠隔の地、バストスにあつて
 は、そればかりか、ついでに、あれを思ひこ
 り、思ふとき、いかに乍ら日本人の集る地
 同様に、競争に身をまかせ、根強い発展もて
 うな資本の前に屈服するの止むなきに
 立ち到る者が多い。
 わがバストスに於ても、御同様、誠に複
 雑なる關係にあるが、幸いに、御士愛の
 極めて強いものがあるのは、移住地の生い
 立ちの然らしむる所であらうか。今後で
 き得べくんば、産業方面の一元化を計り
 可成一本に纏めて力強いものに仕立てお
 ばなるまい。況んや今から移住地へ大産
 業に盛り立てねばならぬ。ほんかん栽培業
 に於ては、一の強大なる栽培出荷組合の活
 動を必要とするものである。以上よりかえ
 し、よりかえし同じような事を申述べまし
 て、甚だ悲縮次第であり、私共、ほんかん
 栽培に専念し、之れを移住地將來の特
 産とらしむる爲め、今後の私共の心構え
 を、如何にすれば、良く了解して貰えるか
 と、苦べした結果に外ならないのであり、ま
 す、又抽象的の文字も多し、使ひましたか
 何卒宜敷く、其の辺の御味読下され
 ますよう、御願申上げます。(了)

バストス短歌會報

バストス歌會では三月十七日山本一男
 居で七十六回例會を開いた。出席七名、
 欠席投稿三名。作品は次のようです。

- 原金なしたる火の安らぎー 日やー
 條頼に目立つ氣寂れの鐵
- 露しけさ柵の朝親情しみて 帆舟
- 一刻佇む出勤の前 子工
- バストスは移民の故郷と言葉 勘一
- 味はふかく林端みてる 勘一
- 虫すだく露の細道降り来て 勘一
- 浮れたる靴を脱がせてたてかく 巴口
- ミーヌ時間の葉を高めて宗谷丸 和枝
- 氷の海をのがれしと告ぐ 和枝
- 妹の忌を明日に控えて予期せざる 千代子
- 鉢の睡蓮 初花を持つ 千代子
- 幼稚園に入り来の子はまたのびぬ 菊子
- 髪とさよ上かて身暖気がかふ 菊子
- 熱そらに楯は焼鶴切り合けて 羊鈴
- われにけ柔き逆身をまくれる 羊鈴
- くすくする如くは志は湧き来り 羊鈴
- 子の身給に暗れゆく吾が胸

得点は、日やー 10、帆舟、ナエ、勘一、7、以下
 畧 (短歌同好者の投稿を希望します。毎月
 二日曜 山本文房身居近)

SAPATARIA HAYAKAWA

商談の
 ヒケツは
 敵のクツは
 アツトウされ
 ないことである
 こちうも
 磨いたクツで
 故裝すべし
 (ハヤカワ金吉)



クツノコトナラ

早 靴店

バストスの郷土愛に立脚して

去る三月廿四日連日、総会の席上で、畑中
 市長が連合日本人会に、概説された金五コ
 ントについて、市長が申出た、われら主旨
 を、もう少し掘り下げて、研究し、バストス
 在住者の御協力と御賛同を願いたいたいの
 である。市長の主旨を一口に言つて、バス
 トスの郷土愛から出發せねばならない。
 バストスに土着心がなく、又將來どうな
 り、どういふと考へる人は、この主旨に御賛成
 ではないか、も知れまい。

先づ、一歩、五コント宛無條件で一定の
 期間、バストスの爲めに投資をして下さる
 家族が、四百名あると仮定して、二二二二
 千コントスを集めることとする。

(但し、一時出資でなくとも可)

この金の使用方法であるが、出資者の希
 望は、有形のものに投資を行ふこと、ま
 し、家業の都合で、転業その他、転讓される
 方には、その土地を、会が購入して、之に日
 本より来る新移民の方を入れると、又
 は、会員の希望により、分譲する、或は分譲
 に必要ない理想的農園に、仕上げてゆくこと
 も考へられる。之れは、振興会社の主旨に
 叶うものであるから、其の方面からの金融
 件も期待される。金があることが、第一條
 件なら、いくつもの有形無形の投資に、依つ
 て、利潤を生み出すことは、可能なわけであ
 る。

畑中市長は、銀行借りの切替に必要
 とあれば、その金を融資する方法もある。
 と、高利でなく、多くの者が利益するならば、所
 期の目的を達する事ができる。
 又、畑中市長は、次のようにも云つて、
 「バストス在住者は、一身上の都合で、他
 へに辭退する、存口以て、遂に三度目の會長に
 出馬させた、のだから、何か有意義な仕事
 をして、惜わねばならぬ、何と云ふ、その爲
 めには、會をモツと、財力なき、會に成果を求
 むる必要がある。財力なき、會に成果を求

HEROIS DE SATOMI

Dia 29 e 30 de mar.
as 20 Horas

Cine Bandeirantes



あ
れ



あ
と
こ



Tambem Sou Homem

鶴田浩二の青年社長！うなる鉄拳 空手チョッポ
溜飲のさがる豪華男性巨篇

二本建てて 同夜上映

若くして強い八大士！恋あり武勇あり義侠あり
手に汗握る冒険と合戦 妖怪変化の迫力 大活劇

中村錦之助 田代百合子 東千代之助

第四部 血盟八剣士 いきをもつかせぬ おもしろさ

甲

と

兎

み

八

は

大

けん

傳

で

4° EPOCA

めることは無理である。此の点を、谷口
会長を選んだバスター人は、慎重に考
るべきではないか。と、懐疑に考
る。そこで其の利益した金の使途が問題と
なる。此後かんくんと大ケ敷しくなっ
てくるバスターに於ける教育、文化、スホ
ーなどの助成金としておすようにな
る可く寄附などたよりないようにな
る可く管理する公は万機公論に依って使
を公正にするといふ考え方もある。
又、将来必ず起るバスターの政治問題
に對しても無関心ではあり得ない。日本
人(目系)の力が強くなりなれば、過去
にあったような、公正を欠く人によつて
バスターの爲めにならぬ政治をされる
弊があらうとも、之を阻止する途がない
その爲めには、選挙の時は勿論政治力の養
成の爲めにも、或る程度の財力を以て、
対抗する必要がある。つまりバスター
の地方自治(郡政)が私りの要請を叶えて
貰へる様にすることを、どうしても日
の市長や、出来る丈多く日系バスター
ルを運出しなくてはならぬといふことも
考へる必要があるであらう。
こう言うことを私は念願するのである
が、之れを實行に移すには、真にバスター
の郷土愛に五脚して、大方の諸士の御
協力を俵ねねば、できない相談だ。遠大
目標のようだが、やる氣になつて、みんな

なが心を合せ、一門ぬいで実行に移せば
そんなに大ケ敷い問題ではないと思ふ。
皆さんに御考えがあれば、御遠慮なく
おさかせ願いたいと思つてゐる。
(筆者は連日、第一書記
重道 永栄氏)

サンジョセ中学校
生徒の父兄に御しらせ

本年度より図画科のフロムラマが変更
して新規の様式を採用することになり、
用具材料費が二百四五十円かかります。
しかし学費一般諸費用が上つて一度に出
費する事を考慮し、実施は第二学期から
に延期します。依つて一度御預りした金
は各學生に返しおられたから御調査下さい。
しかし中には図画を好み勉強したい生
徒も可なりありますので、特に毎週二時
間(一時間づつ二回)特別に授業します。
但し之れは成績には関係のないもので、
且つ授業料を徴集しません。(用具材料は
バスターに売つて居りませんので、希望者
の金を預かり壱市から取りよめます。左
事情によるものです)授業は午後五時頃
サンジョセ中学校
図画受持 ワルテル 松原

連日会新理事紹介

乙考隨筆集より

第七話つゞき

○早川氏の第二書記は閑職である。しかし氏を理事に推薦する話には理事改選を通じて馬評に上つてをり、おそすざる憾もあら位。公事には骨惜しみせむつてす事は周知の事実。

○柳浦事業部理事も同様、口ばかり立つても先頭に出て号令する位の氣力ある人を必要とする。適材と言ふ可さだ。

○学務の山中陽之助氏は言を要さない。父兄会の实际的な責任者としての、これ迄の努力は誰もが認めてゐる。口が五月蝿いから仲間入りさせたいなどは只の悪口だ。狼程の学務関係に忠実な人物は稀だ。

○州立中李問題やサンジョセ中学の月謝値上げのケストーンが目前に横おつてゐる。氏の押しと誠意を以て、これら問題がより良き解決をする事に期待をかける。且つ支持を惜しまない。

○長橋智氏の産業部と言ふのは連日の対産組外部の意味が、まだはつきり判らないが、ともあれ理事に一枚加わつてい適材だ。副会長のシヤッパには、たの由である。養鶏、牧牛の収入をなせよう。所に出る彼の真意は組合を預る者の責任無遂と組合員個々との交流のため、時間的余裕をつくつて組合員の鶏舎訪問もしたい。それを尚時間があれば、長い間の町と山とのふたまたの忙しい生活の息抜きに本も読みたい。俳句や寫真もやりたい。やりにやりにしたい。だらけなのだ。折角の此の心づもりを彼の町へ出るやとたん、この心づもりを連日理事会入りとせよとは余り酷だ。次期にはとも角、今度はシヤッパから除外してほしいとの友人達の希望も空しく、産業部の新設と共に推されて初代理事となつた。彼の性格から一旦受けたい以上徹底的に力を盡すには相違ない。青年団支部長、区長などと団体の統率には経済的か、か決つたからにはツノマツセと声援するばかりだ。

以上六名様の寸描よつて件の如し。

第八話

瀬島乙考

汗して得たる物

夜間中学の生徒達が修学旅行の旅費捻出のためセツソンを歩いてメイヤヤカミ一歩を売って廻つてゐる由だ。折角のドミンゴを馴れないうちに足を

棒にし、氣をつかつて終日。戻るときはく何でもかかでも奇附々々、他力本願は見よ。自らが汗して握つた金はつかう上にもおのづかと考が生れてくる苦だ。一つには商売とはかくあるものとの体験も得られ、所謂押売りではないし、マスカツチに高い値をつけ、売るのでなく、法外に人も必要な品を適當な値段で買取り、それによつて間接的に此の学生達の援助になるのだから、できる限りの手助けをしてやるのは人情だ。

リィフだとか、奇附だとかの行為は学生達の執る可き最上の金集めの手段ではない。金があるから奇附、物を買ふ必要がある。バストスには、いかにも奇附行為が多すぎる。この伯人達もこれをまねて、金をつい、と募金歩きをする様だ。幸生はかりでなく、青年団や運動団体も頭をつかつて、都度寄付にすがる聲風を破つてほしいものだ。

各種發動機

修理開始

多年日本で發動機修繕に従事して居た、熟練な技術者及旋盤工が今回渡伯して来ましたので、各需要者の希望に依り、取あえず修理部を開始致しました。御利用下さい。

新發賣

トマテ、西瓜、野菜類の

追肥機〔鋲鑄製〕

本機はすでに聖市郊外カンピナス方面にて大好評を受けつつあります。

養鶏飼料混合機 製作

Maquina Pastos

石橋農具研究所

PHONE 二十五番

24-MAR-57

実話
北南米股旅記 9

サイト・ノ・シチロウ

大河内製薬会社にころ中込む

あの頃大河内氏は聖市クオリア街の入口附近で伯人と共同で製薬業を始め、店口たりので、とりあえずその会社へヤツかいに在ることになった。又高岡専太郎は士は同人会の医師として大いに在当邦人界に活躍を始められたので心強かった。二人とも現存し盛大にやって居られるので、その頃の話や批評は恩義に對しても遠慮しなすれはならぬ。

大河内製薬には二年厄介になつたが、その間に一つ二つ記憶にのこつてゐる話がある。その頃同人会の主事は山田といふ元日本の軍人で、高岡さんは専務医師であつた。高岡さんはフレックタに用ゐられて塩酸キニネをなげれば副反応があるのだから、他のキニネは使用を禁じていた。ところが、藤田博士は山田主事に提出した。此の二種の丸薬に對して見分ける力のある者はあるまいと云うのであろう。ジブンは北米マルネード製薬に居る時、両者をよく分析して知つていたが、その時は知らん顔をしていた。大河内さんはその為め大迷惑をした。というのには當時の大河内さんは同人会に納める塩酸キニネの製薬が唯一の収入だつたので、競争者があつたわけが安いのを売込まれては、アゴがひあがるので大河内氏の心配は相當なものであつた。

塩酸キニネと硫酸キニネの相場差は小さい。よく知つていたからシブンは、いかに伯国でも、そんな安価で塩酸キニネが買える筈はないと口を出した。藤田博士は、楠博士と口論となり、両氏製造の丸薬を分析することになった。勿論高岡博士は塩酸キニネ以外は禁止の方針をかから、分析の結果楠博士の負けとなり、硫酸キニネと判つたので大河内さんは大恥ぢであつた。

その時、高岡長助氏が同人会の書記として居り、大河内さん方もも出入りして居たので、ジブンの都合だつた関係で、分析の謝礼として金を封をくれた。こりやアありが、いと、その金をみんなど飲んでしまつた。北米はジブンの退去前から禁酒令が、かましく酒はのめなかつた。密輸入酒とさたら二十冊出しても酔ふ程の量はない。後で酒は飲まなかつたが、スラジルへ来て見ると酒のみの天国だ、当時五ミルのピンガを一度にのむなどというこは、できたものではなかつた。安いのひついで、チヨクノヤつてゐる内、昔の悪習慣が再発し、あつたはれ大酒家の称号を拝受し

東本願寺

講演會

東本願寺(ロンドンリーナ駐在)

登坂開教使の講演會を左記の通り開催いたしますから、御來聴願いたします。

○三月二十七日午後七時

バストス産業會館にて

○三月二十八日午後六時半

ホンスイン区 青年會館

○三月二十九日午後六時半

サウズ区 青年會館

西本願寺

講演會

西本願寺開教總長渡辺静波の訪日歸國講演會を左記の通り開催いたしますから、御參集願ひます。

○三月二十九日午後七時

バストス産業會館にて

主催 バストス 佛教會

御禮

金一封 三月十五日 梵真寺

河股 幸善 様

御禮

金一封

右八故御子息徳康様御逝去に際し、供養の爲め、御手、御布施として頂戴しました。厚く御礼申上ります。

三月二十八日 梵真寺 吉沢一郎 様

虫 声 新井 牛丸

羊七木もみりる色は見えぬとも、新井は、うたふ虫の戸々

てしまった。若い時酒をくじった記憶がたまらざと甦る。そのうち数田トドールは同仁会理事を辞職して田舎に転居されたが、のちワリリヤで再会した。レシがレシアンには余り好いかおはしなかつた。

アルコール工場設計
やはり大河内氏の所に居た頃の事だがマカリヤンエスといふ伯人がイバヨロツパリ親非園を売って発電所を起しアルコール製造を始めたから、マシヨカから試験的にアルコールを抽出してくれ、且つ企業設計もしてくれとたのまれた。実際に二リッポルも抽出し同時に設計書を作成して送ってやったが、其後何のたよりもない。大河内氏も共々心配して来て二人でノイバヨロツパに出かけて見た処、小林幸一郎氏が発電所からアルコール製造迄全部引受けていた事がわかつた。

吾々は太い力に力を感じ、伯人のたよりにならぬのをなほいたが仕方ない。其後の話によると小林氏の事業はうまくいかず、マカリヤン氏と手を別つたといふが、マシヨカとは知らぬ。試験的にやつたアルコールの抽出には大河内氏も気乗りで将来期するところがあったが、これがためになつたことはジブアンにとつても痛手だった。伯国投資家に対するジブアンの考へ方も不つと衰つて来たことは事実であつた。

ジブアンの見るところでは、伯国の事業家は目前の利益によつて左右される。体験とか過去の経歴に重きを置かぬ。今の五コントスが二ヶ月で十五コントスになればその方に傾く。国家的とか人類的向上などといつても中々なびかぬ。会社式に組織立ててやる仕事に目をかきぬ人が多い。今昔因循をして三四月先に倍にも三倍にもなるような操作者相手の企業。根性が普通で、恒久的企業、国家社会とつながりのある仕事は割合に冷遇されないかと考へるようになった。(未完)

サイトウ老の手記は、あと一、二回で了ります。同氏は去る三月十日頃のオラン不船で帰国の途にのつたそうです。

お産のときは
ご遠慮なく
ご申付け下さい
元九大附属病院
産婦人科勤務
二十数年の経験あり



助産婦

バストス家政学校
真横向ニケンメ
工藤時枝

シャーカーラ賣却

面積 一アルケール
設備 ランシヨ等
庭園は觀賞樹植込あり

右、家事の都合に因り賣却致します
故御希望の御方は御未談下さい
角藤光雄

角藤光雄



Nossa Relojoaria
AV. TAMOIOS 785 TUPA
FONE 1234

時計 貴金属、メガネ、万葉年、の
御買上げ 最も信用ある
ツパノ市
ノッサ 時計店

本年より開始
カミニオンのリツセンサ なら
トモーベ
西 事務所 に御用命下さい

住宅 賣ります

産業組合 農業倉庫 横角
タツタ 二〇米 x 四〇米
建物 木造 一棟

右格安に売却します。御希望の方は
左記へかたがわ下さい

中央区二組ノ二
元、新組合製糸工場道上
溢 谷

Depois de ter estado bastante por uma rua larga e menos miseravel do que acabavamos de atravessar, e onde as lojas iam sendo maiores e mais bonitas e medida que iamos decendo, Vitalis voltou a direita, e logo nos achamos num bairro perfeitamente miseravel: o ri-beiro não gelado corria pelo meio da rua, por entre as casas altas e as aguas fetidas que ele fazia mover, andava pela rua: nas tabernas, que eram em grande quantidade, estavam homens e mulheres bebendo em pé diante de balcoes de estanho e gritando em voz alta.

No canto duma casa li o nome de rua de Lourcine.

Vitalis que parecia saber para onde ia, afastava delicadamente os grupos que lhe impediam a passagem e eu seguia-o de perto.

- Toma cuidado, não mer percás, havia-me dito.

Nas a recommendação era inutil, eu ia mesmo atraz dele e para mais segurança ia agarrando com a mão uma penta do seu casaco.

Depois de ter atravessado um grande pateo e um corredor, chegamos a uma especie de poço sombrio e esverdeado onde com certeza o sol nunca penetrara. Isto era ainda mais feio e mais medonho do que tudo o que eu viria até então.

- Garofoli esta em casa? perguntou Vitalis a um homem que estava pendurando trapos sobre a parede, alumando-se com uma lanterna.

- Não sei, suba a cima a vêr; sabe onde é, no cimo da escada, a porta em frente.

Garofoli é o padrone de que te falei, disse-me ele enquanto subia mos a escada cujos degraus, cobertos por uma crosta de terra, eram es-corregadios como se tivessem sido formados de grada humida; é aqui que ele mora. A rua, a casa, a escada, não eram tais que me animassem o coração. Como seria o dono? A escada tinha quatro andares; Vitalis empurrou, sem bater, a porta que estava em frente do patamar, e achamos nos numa casa muito grande, uma especie de sótão.

No meio havia um grande espaço vazio e á roda uma duzia de camas. As paredes e o teto eram duma côr indefinivel; antigamente haviam sido brancos, mas o fumo, a poeira, as imundices de toda a casta, tinha es-curecido o estuque, nalguns sitios estava rachado ou esburacado; ao lado duma cabeça desenhada a carvão, tinham esculpido flores e passaros

- Garofoli, disse Vitalis entrando, está aí por alguns cantos, responde-me, peço-lhe; é Vitalis que lhe fala.

Efetivamente, o quarto parecia deserto tanto quanto se podia perceber pela claridade duma lampada pregada na parede, mas á voz do meu amo, uma voz fraca e tremula, uma voz de criança, respondeu:

- O Signor Garofoli saiu; só volta daqui a duas horas. Ao mesmo tempo que nos respondia, appareceu; era um rapazinho dos seus dez anos, que avançou para nós arrastando-se, e eu fiquei tão vivamente impressionado com o aspecto estranho, que ainda o vejo diante de mim; não tinha por assim dizer corpo, e a cabeça grande e desproporcionada, parecia collocada imediatamente em cima das pernas, como naquelles desenhos comicos que estiveram em moda aqui ha alguns anos; essa cabeça tinha uma expressão profunda de sofrimento e de doçura, com a resignação nos olhos e a desesperança na fisionomia geral. Assim constituido não podia ser bonito; contudo atraia os olhares e detinha-os pela simpatia e por um certo encanto que exixtia nos seus olhos humildes e ternos como os de um cão e nos seus labios falantes.

- Tens certeza, de que ele esteja cá daqui a duas horas? perguntou Vitalis.

- Toda a certeza, signor? é a hora do jantar e nunca ninguém, a não se ele, serve o jantar.

- Pois bem, se ele vier antes, diz-lhe que Vitalis voltará daqui a duas horas. Disponha-me a acompanhar meu amo quando este me deteve.

- Tica aqui, disse ele, descancará's.

E como eu tivesse um movimento de terror. - Afiançate que volta-rei. Eu teria preferido, apesar do cansaço, acompanhar Vitalis; mas quando ele ordenava, eu costumava obdecer, fiquei, pois. Quando se deixou de ouvir a bulha dos passos pesados de meu amo na escada, o rapaz que escutára, com o ouvido encostado á porta, voltou-se para mim.

- E da terra? disse-me ele em italiano.
Desde que estava com Vitalis aprendera bastante italiano para compreender mais ou menos tudo quanto se dizia nessa lingua, mas não a lava ainda bastante bem para me servir dela á minha vontade.

(continua):-

JARDIM NOVA BAURU

"ORTI" Organização Regatieri Transações Imobiliarias

Rua Batista de Carvalho, 3-27-4º Andar - Salas 5 e 7 FONE 1039

Bauru, Estado de São Paulo

(Edifício Drogasil)

譲渡

法定相続人へ譲渡の
特典です
土地買受人が亡くした
ときは、残金の支払いを
免除し、その土地の地権
を法定相続人に譲渡
いたします

———
慎重に考える人は
常に生活の安定を
考慮する

代理人 實地巡回中
詳細説明いたします

ジヤルチ バウル

O.R.T.I. 会社は、みなさまに

の美しい新市街地を提供いたします
電燈・電話も架設され、水質は上等、水量は
豊富です。

バウラーの中心から僅かニキロ、競馬場やパウリ
スタ公園、バウル公園、動物園、植物園等が附
近にあり、サンパウロ街道に沿うすばらしい場所です。

条件

は、きわめてかんたんです
わづかな御入金と、毎月わづかな
フレスタソンで、あなたのもものとなります。

保険

がついています。契約名義人かもし
不幸にして、中途で死亡した場合、
残金支拂は免除されます。そして土地
証券を遺族の方に差上げます。

一九三七年十二月十日、三八年九月十五日の法令五八号により、バウル市役所の
許可のもとに、道筋、区画の整備がしてあります
バウル不動産登記所に登記されて居ります

